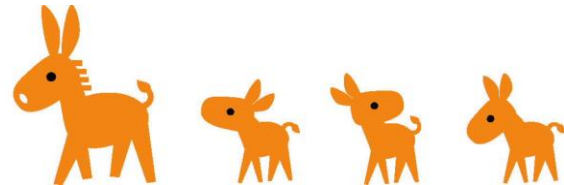


令和7年度 秋田市地域包括・在宅介護支援センター連絡協議会研修会

令和7年12月12日(金)
秋田県ゆとり生活創造センター遊学舎

寺内地域包括支援センター寿光園	認知症地域支援推進員	夏井陽介
外旭川地域包括支援センターコネク	認知症地域支援推進員	佐々木弥生子
土崎地域包括支援センター永覚町	認知症地域支援推進員	佐藤 舞子
飯島地域包括支援センター金寿園	認知症地域支援推進員	藤本 淳
下新城地域包括支援センターニコニコ	社会福祉士	山本 誠



～認知症サポーターはどれくらいいるのか～

+ 認知症サポーター

認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族を温かい目で見守る支援者として、自分ができる範囲で活動する。

全国 16,533,228人(昨年比+551,145人)

秋田県 138,354人(昨年比+3,023人)

秋田市 31,380人(昨年比+1,366人)

(令和7年9月30日時点)

+ 秋田市の人口が292,587人なので、約10人に1人が認知症サポーターです。

認知症サポーターとつながるにはどうしたらいいか？

- 認知症サポーター養成講座を受講した際の過去のアンケートの掘り起こし
- 圏域の実態把握
- 圏域ごとに認知症サポーターの名簿を作成



認知症サポーターとつながるにはどうしたらいいか？

- 西部圏域、中央圏域の先進的な取り組みを教えてください
- 全国の取り組みを情報収集する



北部的認知症サポーター交流会

- サポーターから「〇〇をやりたい」という声が出てくればいいな
- 小さくても続けられる会になったらいいな
- 新しい認知症観や当事者の声を伝える場になったらいいな

～認知症の人とともに

認知症サポーターとして何かやってみたい
と思うことを実現できる場に～



共生社会の実現を推進するための 認知症基本法施行R6.1.1

～認知症施策推進基本計画～

- + 「新しい認知症観」に立つ
- + 自分事として考える
- + 認知症の人等の参画・対話
- + 多様な主体の連携・協同

古い認知症観

(他人ごと、問題重視、疎外、絶望)

①他人ごと、目をそらす、先送り

②認知症だと何もわからない、できなくなる

③本人は話せない/声を聞かない

④おかしい言動で周りが困る

⑤危険重視

⑥周囲が決める

⑦本人は支援される一方

⑧認知症は恥ずかしい、隠す

⑨地域で暮らすのは無理

⑩暗い、萎縮、あきらめ、絶望的



新しい認知症観

(わがごと、可能性重視、ともに、希望)

①わがごと、向き合う、備える

②わかること、できることが豊富にある

③本人は声を出せる/声を聞く

④本人が一番困っている
本人なりの意味がある

⑤あたりまえごと(人権)重視
自由と安全のバランス

⑥本人が決める(決められるように支援)

⑦本人は支え手でもある。支え-支えられる関係

⑧認知症でも自分は自分、オープンに

⑨地域の一員として暮らし、活躍

⑩楽しい、のびのび、あきらめずに、希望を



認知症とともに生きる希望宣言

1. 自分自身がとらわれている 常識の殻を破り、前を向いて生きていきます。

2. 自分の力を活かして、大切にしたい暮らしを続け、社会の一員として、楽しみながらチャレンジしていきます。

3. 私たち本人同士が、出会い、つながり、生きる力をわき立たせ、元気に暮らしていきます。

4. 自分の思いや希望を伝えながら、味方になってくれる人たちを、身近なまちで見つけ、一緒に歩いていきます。

5. 認知症とともに生きている体験や工夫を活かし、暮らしやすいわがまちを、一緒につくっていきます。



認知症サポーター交流会

プレ R7.2.21 (金)

- 新しい認知症観
- 当事者の声の紹介
- 情報交換

北部

認知症サポーター 通信 vol.1

令和7年3月発行 発行所 ~
寺内地域包括支援センター寿光園
外旭川地域包括支援センターコネク
土給地域包括支援センター永発町
飯島地域包括支援センター金寿園
下新城地域包括支援センターコココ

第1回認知症サポーター交流会を開催いたしました。

令和7年2月21日(金)、ポートタワーセリオン2階イベントホールにて、第1回北部認知症サポーター交流会が開催されました。19名にご参加いただき、認知症についての学びとグループにわかれての情報交換をおこないました。

◎ 講話 ~新しい認知症観について学ぶ~

2024年1月に認知症基本法が施行され、新しい認知症観が示されました。認知症をわがことと捉え、認知症になっても希望をもって暮らすことができる社会の実現を目指していきましょう。



古い認知症観 (他人ごと、問題重視、除外、絶望)	新しい認知症観 (わがこと、可能性重視、ともに、希望)
◎他人ごと、目をそらす、見逃す	◎わがこと、向き合う、構える
◎認知症だと何もわかんない、できなくなる	◎わかること、できることが豊かになる
◎本人は話せない/声を聞かない	◎本人は声を会せる/声を聞く
◎おかしな言動で周りが困る	◎本人が一番困っている 本人ならではの意味がある
◎危険重視	◎あたりまえごと(人権)重視 自由と安全のバランス
◎医者が決める	◎本人が決める(決められるように支援)
◎本人は支援される一方	◎本人は支え手でもある。支え-支えられる関係
◎認知症は気づかない、隠す	◎認知症でも自分自身、オープンに
◎地域で暮らすのは無理	◎地域の一員として暮らし、活躍
◎怖い、悲観、あきらめ、絶望的	◎楽しい、のびのび、あきらめずに、希望を

◎ 講話 ~認知症当事者・ご家族の声~

地域包括支援センターの認知症地域支援推進員は認知症のかたやそのご家族から様々なお話を伺っています。その中のいくつかの"声"を講話の中でご紹介しました。



厚生労働省では認知症ご本人からのメッセージ動画を配信しています。ぜひ、ご視聴ください。

厚生労働省 希望の道

◎ 情報交換① ~現在行っている活動について~

ご近所活動
・見守り・声かけ・ゴミ出し・雷よせ

町内活動
・見守り・声かけ・サロン、座談会・健康教室

民生委員活動
・声かけ・見守り・連絡先の把握・包括へのつなぎ

集いの場
・サークル活動・年齢にかかわらず交流

個別支援
・本人の思いを大切にしたいかかわり・遠くから見守る・畏れ合う
・楽しい時間を一緒に過ごす・専門職としてのかかわり




◎ 情報交換② ~今後行いたい活動や活動するうえで大切なことについて~

- ・身近な場所での活動・話すことが大切・町内会館や補助金の活用・楽しいこと
- ・みんなで支え合うこと・オープンスペースであること
- ・好きなことを続けられる場所・見守りボランティア
- ・男性の役割のある場所、仕事・思いが共有できる場所
- ・当事者とのかかわりの場・介護者の気持ちを知る場
- ・地域のためになる活動をしたい・見守りネットワーク活動
- ・フットケア、ハンドケアの資格を生かしたかかわり

次回の交流会は、4月18日(金)に開催いたします。ぜひご参加ください。

◎ コラム ~認知症であることを知ってもらうことについて~

今回の交流会の中で、認知症とわかったことでないかいいことはあるのかという話題になりました。認知症の方にお話を伺うと、認知症とわかった時は、「ショックだった」「信じなくなかった」という声がかかる反面、「今までおかしなと思っていたことが認知症という病気のせいだとわかりモヤモヤが晴れた」、「認知症と言われても何も変わらない」という前向きな言葉も聞かれます。認知症という病気は誰もがなり得る病気であり、決して特別な病気ではありません。ただ、できないことが増えてしまった時、周囲のサポート、手助けが必要になります。周囲にできないことを打ち明け、周囲が必要な支援を知ることで、お互いにスムーズに、いい関係も築けるのではないのでしょうか。まだまだ認知症であることを周りに知られたくないと思う人もいなかで、認知症を理解してくれるサポーターとともに、暮らしやすいまちづくりにつながる活動をともに進めていきたいと思います！

認知症サポーター交流会



第1回目R7.4.19(金)

- 認知症カフェについて知ろう
- 認知症サポーターとしてやってみたいことについて情報交換

認知症サポーター交流会



第2回目R7.6.18(水)

□認知症サポーターのみなさんに知ってほしい!薬局でできるサポートについて

□スーパー利用時の困りごとについて情報交換

第1回目認知症サポーター交流会からつながった
相染新町町内会

R7.6月

俺は認知症と医者に言われたが、まだできることがたくさんある。尺八と民謡なら誰にも負けない。



認知症サポーター交流会



第3回目R7.8.22(金)

□認知症と共に生きる希望宣言
のご紹介

□認知症普及映画「やさしく」
の意味 視聴

□9月の認知症月間に向けて、
しおり作り



認知症サポーター交流会



第4回目R7.10.3(金)

□小規模多機能型居宅介護について

□認知症に関する県・市政広報番組視聴

□移送支援について情報交換

認知症サポーター交流会

第5回目R7.12.10(金)

□家族の声
～当事者と家族の
気持ち～

分からなくなる事が
分かる分辛いと思う。
涙もろくなり、泣い
ている時もある。

また、来年見
に行こうと
思っている。
来年!



認知症の人と家族の権利宣言

ともにある



1. 家族一人ひとりの尊厳と人権が尊重されること
2. 家族がともに安心して暮らせる社会の実現を保証すること
3. 家族が必要な支援を受けられること
4. 社会全体で支え合うこと
5. 家族の経験が社会でいかされること

認知症サポーターとのつながり

認知症サポーターとしての活躍の場



R7.9.12

市民向け認知症サポーター養成講座
寸劇披露



R7.10.17

聞こえとからだの健康度チェック
ボランティア



認知症サポーターステップアップ講座：10月31日セリオンにて



人前に行き話をすると
楽しい!

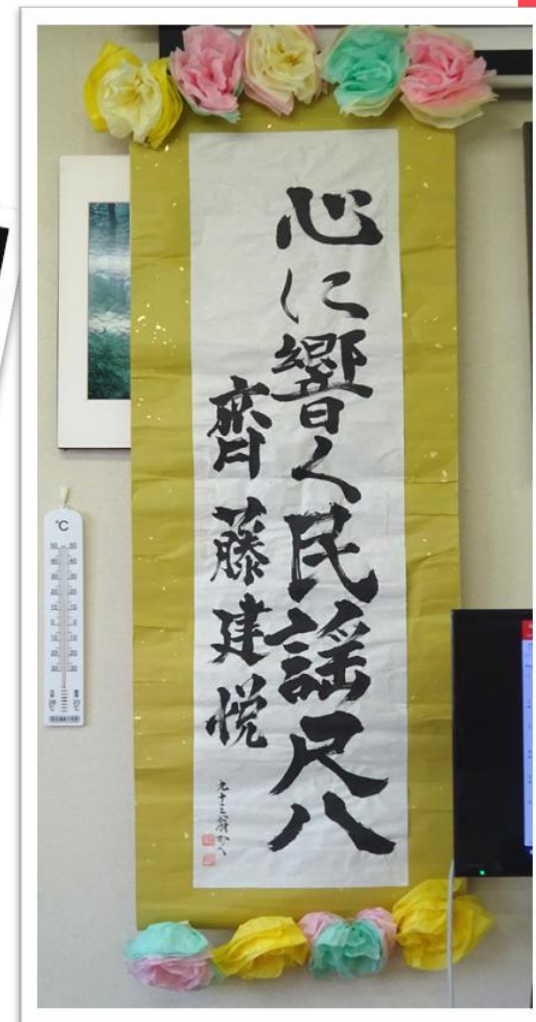
家に閉じこもっていても
ダメ。人中にいて何でも
話したりすれば、大して
いいね!



認知症の人とともに ～誰かのために～がカタチになる



ステップアップ講座から將軍野双葉の会につながる ～みんなで盛り上げよう～装飾準備編



～民謡と尺八を楽しむ会～ 11月26日(水) 二葉会館



まとめ

- + 楽しく、新しい認知症観を広めることができた。
- + 職域サポーターの方から、専門職としてできることについてお話しいただき、勉強になった。
- + そして勉強したことや、新たな出会いを各地域に持ち帰り、家族、友人、サロンに還元することができた。
- + 「移送」の問題が認知症の方がやりたいことを実現することのハードルになっていると感じる。

認知症の方がやりたいことができるために



ご清聴ありがとうございました

